



RISA sense の

毎日特許翻訳

書籍&URL リスト

DAWN
Inspiration

【辞書】

「ランダムハウス英和大辞典〔第2版・全1巻〕」 小学館

★リーダーズやジーニアス、新英和も捨てがたいのですが、ランダムハウスの魅力と言え
何といっても収録語数と解説の豊富さ。私も何度もランダムハウスには助けられました。

「Collins COBUILD Advanced Learner's Dictionary」

★英英辞書として優秀な一冊です。英和辞書も良いのですが、ネイティブの感覚を理解する
のには、英英辞書、特に Collins のような辞書はうってつけです。

「The Merriam-Webster Dictionary」

★かの有名な Webster は、収録語数が多く、解説も丁寧です。辞書の枠にとどまらず、読
み物としても良書と言える一冊です。

「Longman Basic English Dictionary」

★Longman には様々なシリーズがあります。特許のみならず様々な翻訳で助けてくれる一
冊です。

「広辞苑」岩波書店

★日本語の辞書は、やはり外せません。日本語の辞書と言えば広辞苑、ではないでしょうか。

翻訳においては、英語だけではなく日本語の表現力や語彙力も同様にセンターピンになります。

【特許法】

「令和 2 年改正知的財産権法文集令和 3 年 4 月 1 日施行版」 一般社団法人発明推進協会

★知財の仕事をする上で、法文集は外せません。Web で閲覧、ダウンロードもできますが、紙媒体のものも便利です。

「工業所有権法（産業財産権法）逐条解説第 21 版」 特許庁

★別名「青本」と呼ばれています。法解釈に外せない一冊です。

「理系のための法律入門—できる社会人に不可欠な知識と倫理 第 2 版」（ブルーバック

ス）井野邊 陽

★教えたくないくらい良書で、本屋さんで見つけた時は衝撃を受けました。知財だけではなく、PL 法等も紹介されています。

「特許法概説」吉藤 幸朔

★かの有名な「吉藤」です。全部を読むのは難しいかもしれませんが、知財を極めたい方は、一度は読んでみましょう。

「特許法 第 4 版（法律学講座双書）」中山 信弘

★「中山」も、「吉藤」同様に外せない一冊です。一度は読んでみましょう。

「対訳 実務家のための欧州特許条約」ホフマンアイトレ

★特許翻訳に携わると、日本の特許法だけではなく、欧州の特許法についても理解する必要があります。法律は改訂がありますが、基本的な内容はしっかり押さえておきましょう。

「米国特許法逐条解説(第6版)」ヘンリー幸田

★米国特許法は、日本の特許法との差異が大きいので、しっかり理解しましょう。そんな米国特許法を理解するのにうってつけな一冊です。

【化学】

「アトキンス有機化学」 Peter Atkins

「マクマリー有機化学」 McMurry, John

★特許翻訳には化学、物理、IT、医療…様々なものがありますが、私は化学を専門としています。

この 2 冊は大学で教科書としても使われています。化学案件で迷うことがあれば、この本を開いてみると良いでしょう。

【英語】

「スーパーレベルパーフェクト英文法」植田一三

★この本は教えたくないくらい良い本です。英文法をより深く理解するのにうってつけです。学校では教えてくれない本質の英語のエッセンスがちりばめられています。

「大学入試アップグレード英文法・語法問題」数研出版

★大学受験向けの問題集にはなりますが、英文解釈に役立つ内容です。プロになった今でもたまに目を通しています。

「DUO 3.0」鈴木 陽一

★かの有名な DUO です。例文を暗記した方も多いのではないのでしょうか。私もその一人です。

例文を暗記すると、知っている言い回しに出会ったらすぐに理解でき、英訳の際にも役立ちます。

「表現のための実践ロイヤル英文法」綿貫 陽

「徹底例解ロイヤル英文法 改訂新版」綿貫 陽

★ロイヤル英文法シリーズは良書の中の良書です。翻訳で使えるエッセンスが多く、読み物

としても良い一冊です。

「通訳翻訳ジャーナル」 イカロス出版

★通訳や翻訳に関するジャーナル誌です。

ツールや気になる翻訳者の収入、イベントや翻訳会社の情報から誌上コンテストもあり、お

役立ち情報満載です。

私も一度、誌面に載りました。

「特許翻訳完全ガイドブック」(イカロス・ムック)

★特許翻訳に関する、翻訳での注意点や出願について、特許翻訳を学べる学校やコース、辞

書、特許を扱う翻訳会社や特許事務所の情報などが網羅されています。

【URL】

<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>

★日本特許庁の特許情報プラットフォームです。略して「プラパ」とも呼ばれています。

特許だけでなく、商標、意匠、実用新案などの検索をすることができます。

発明の名称や明細書中の単語、発明者や代理人などの検索をすることができます。

特許翻訳においては、単語の検索をするのに大いに役立ちます。

簡易検索の「特許・実用新案を探す」に調べたい単語を入力すると、その単語を含む公報が出てきます。

因みに、「特表」というのは外国の特許庁に出願された出願が日本に移行され、日本語の翻訳文提出されているものです。

その公報の書誌を見て、国際出願番号または国際公開番号を調べ、Patentscope や Espacenet など検索すると、オリジナルの広報を見ることができ、訳語を調べることができます。

<https://www.wipo.int/patentscope/en/>

★WIPO が提供する特許公報検索プラットフォームです。

PCT 公報などを検索するのに大変役立ちます。

PDF データだけでなく、OCR データを見る事もできますので非常に便利です。

https://worldwide.espacenet.com/?locale=en_EP

★欧州特許庁(EPO)が提供する検索サイトです。

smart search、advanced search、classification search の3種類がありますが、まずは smart search から慣れていきましょう。

また、パテントファミリーを調べるのにも便利です。パテントファミリーを調べる際には、広報を表示させたら、左側の INPADOC patent family をクリックします。

すると、パテントファミリーの一覧が表示されます。

また、smart search から出願番号や出願公開番号を検索することもできます。

例えば、特願 1234-567890 号であれば、JP1234567890 と入力すれば、この広報を見ることができます。

この際、ハイフンやスラッシュなどの記号は入力不要で、米国の出願は US、欧州の出願であれば EP をつけて検索します。

<https://patents.google.com/>

★Google の特許検索サービスには、Google Patent Search と Google Patents の2種類があります。それぞれ、Google Scholar に収録される論文データベースも横断的に検索する事もできます。類似特許まで表示されるので、検索により幅が広がります。

Googlepatents より googlepatent search の方が古いデータベースですが、より詳細な検索ができます。高度な検索は J-PlatPat がおすすめですが、J-PlatPat はメンテナンスを行う時があるので、その時は Googlepatents または Googlepatent search を使いましょう。

<https://elaws.e-gov.go.jp/>

★法文を読む事は、知財の勉強で不可欠です。

全てを読む必要はありませんが、重要な項目は押さえておきましょう。

法文は紙媒体の「法文集」を購入する事もできる他、インターネットで閲覧もできます。

e-GOV というサイトから調べる事ができます。

https://www.courts.go.jp/app/hanrei_jp/search1

★判例を学ぶという事は、知財のみならず、法律を学ぶ上で大切な位置付けにあると言えます。

例えば、弁理士試験では過去の判例を引用した問題が多数ありますし、

行政書士試験では「判例に照らし」というフレーズが多用され、判例を知らなければ解けない問題が多数あります。

判例は要旨だけではなく、全文を一度は読む事が、知識や理解を深める近道です。

一部分しか読まないと全体像を理解できず、かえって遠回りになる場合もあります。

最高裁が判例を全文インターネット上で公開しているの、簡単に入手する事ができます。

https://www.jpo.go.jp/system/laws/rule/guideline/patent/tukujitu_kijun/index.html

★審査基準とは、特許庁の各法律解釈の基準を示したものです。

特許庁審査官が出願された特許に対して実際に審査する際に参照されるものですから、それを読み、学ぶ事で特許法の全体像を把握する事ができ、どのような観点で特許法を捉えれば良いかがわかります。

審査基準は特許庁の HP から確認できます。

<https://www.jpo.go.jp/system/laws/rule/kaisetu/kogyoshoyu/chikujokaisetsu21.html>

★「工業所有権法（産業財産権法）逐条解説」は、特許庁の HP から確認する事もできます。

HP より PDF データをダウンロードや閲覧する事ができますが、膨大な量なので必要な部分のみピックアップする事をお勧めします。また、書籍版を購入する事もできます。

<https://www.amelia.ne.jp/>

★翻訳の仕事を探すなら、アメリカがおススメです。私が出講しているフェロー・アカデミ

一の連携事業でもあります。

求人情報だけではなく、コラムや定例トライアル等も面白いですよ。

<https://www.merriam-webster.com/>

★Webster 辞書は、ネットでも閲覧できます。コラムも面白いので、読み物としてもうってつけです。

<https://www.collinsdictionary.com/>

★collins もネットで閲覧できます。シソーラスもなかなか使えますよ。

<http://corpus.byu.edu/coca/>

★コーパスを調べる際にうってつけです。使いこなすのに最初は難しいかもしれませんが、まずは遊び感覚で使ってみてください。

<http://www.translator.jp/>

★翻訳者ディレクトリは、ご自身のプロフィールなどを登録できる翻訳者や通訳者のためのサイトです。実際に翻訳者ディレクトリ経由で翻訳の依頼が来た方もいるそうです。翻訳会社を探すこともできますよ。

<http://www.patentsalon.com/>

★知財の情報サイトと言えばパテントサロン。知財ニュース、求人情報などてんこ盛りです。

私もパテントサロンにはLTで登壇させて頂いたり、広告を出させて頂いたり、お世話になってます！

<http://www.chem-station.com/>

★化学の情報と言えば、ケムステがうってつけです。コラムが面白いので、化学が苦手な方にもおススメです。

<https://scienceportal.jst.go.jp/>

★科学全体のコラムと言えば、サイエンスポータル。読み物としてとても面白いですよ。

<https://jipsti.jst.go.jp/>

★科学の文献や研究データを調べたいときは是非このサイトを使ってください。膨大なデータベースがあなたを助けてくれますよ。